

造船造機統計調査結果（平成17年5月分）の概要

1. 造船調査

(1) 集計工場数

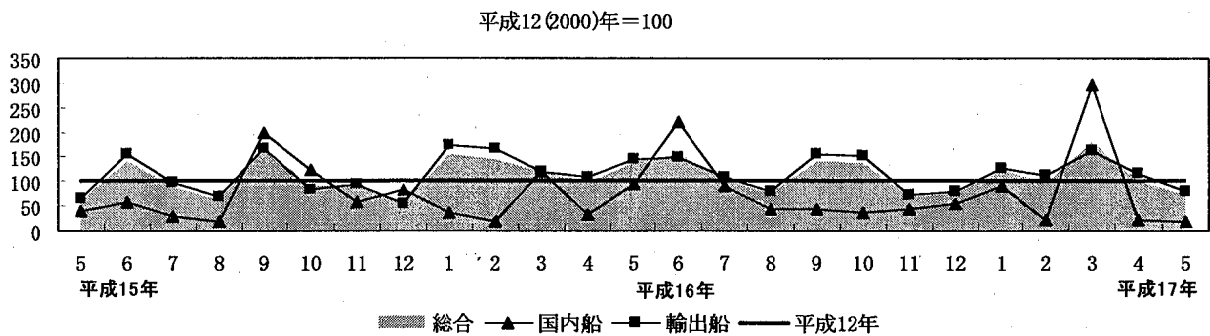
平成17年5月分の集計工場数は、鋼船については、556工場であった。
強化プラスチック（木）船については、67工場であった。

(2) 鋼船建造実績

平成17年5月分の鋼船建造実績は、起工38隻、114万6千G/T、進水49隻、172万5千G/T、しゅん工35隻、92万5千G/T、しゅん工船価699億円、生産指数※72.4であり、生産指数の前年同月比は、47.1%減であった。

このうち国内船は、しゅん工10隻、2千G/T、しゅん工船価23億円、生産指数17.6であり、生産指数の前年同月比は、81.5%減であった。また、輸出船は、しゅん工25隻、92万3千G/T、しゅん工船価676億円、生産指数81.1であり、生産指数の前年同月比は、43.5%減であった。

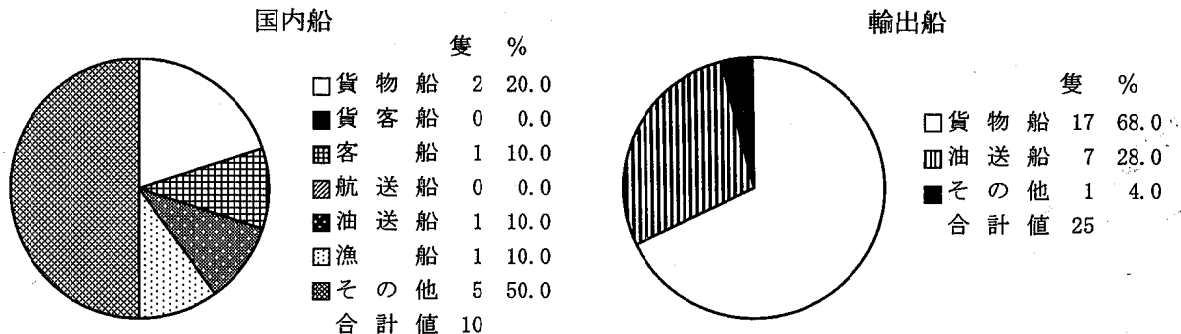
①生産指数の推移



※生産指数（月次）は、当該月のしゅん工船価（合計）を、基準時（平成12年）のしゅん工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。

②しゅん工船の用途別隻数（鋼船）

しゅん工船のうち国内船は10隻、輸出船は25隻で、用途別（船種）では、次のとおりであった。



2. 造機調査

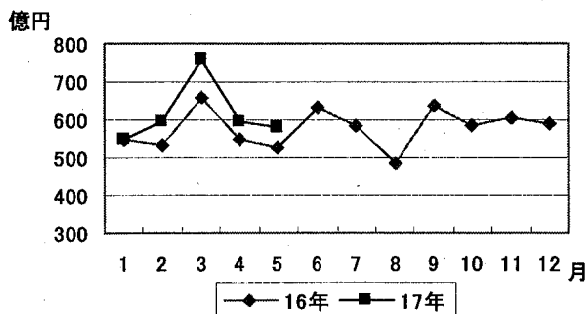
(1) 集計工場数

平成17年5月分の集計工場数は、484工場であった。

(2) 船用機関等の製造高及び月末在庫高・修繕高

船用機関等の製造高は、578億円であり、月末在庫高は、149億円であった。また、修繕高は45億円であった。

①造機製造高の推移



②造機月末在庫高の推移

